

いちごの大規模安定生産技術の開発 公開シンポジウム

イチゴ生産では、特に収穫・出荷作業と育苗に多くの時間がかかり、労働負担が大きくなっています。生産性を高めるためには、単位面積当たりの収穫量の向上に加え、作業効率を高める技術が求められています。本シンポジウムでは、これまでに得られた研究成果や技術についてご紹介いたします。

2026年 **1月28日(水)** 10:00~16:40
(9:30受付開始)

TKPガーデンシティPREMIUM東京駅日本橋
ホール6C (オンライン配信はございません)



アクセス

募集人数: **100名**

**参加
無料**

情報交換会は参加費を申し受けます



プログラム (内容は変更する場合があります)

NARO生育・収量予測ツールを用いたイチゴの収量シミュレーション	農研機構 野菜花き研究部門 杉山 智美
圃場選別に適したウェアラブル選果デバイス	芝浦工業大学 重宗 宏毅
電照利用とクラウン冷却による夏秋イチゴの増収	農研機構 東北農業研究センター 濱 野 恵
飽差制御による冬春いちごの増収	農研機構 西日本農業研究センター 山中 良祐
CO2 局所施用による冬春いちごの増収	農研機構 九州沖縄農業研究センター 日高 功太
高収益イチゴ作経営の経営実態	農研機構 農業経営戦略部 田口 光弘
青森県における夏秋イチゴ「夏のしずく」の栽培実証	青森県産業技術センター農林総合研究所 伊藤 篤史
「恋みのり」における心止まり対策技術による増収	長崎県農林技術開発センター 堀田 修平
総合討論	コンビナー 農研機構 野菜花き研究部門 磯崎 真英

情報交換会 (シンポジウム終了後、有料にて開催します。)

参加費6,600円 17:00~19:00 同会場ホール6A 定員50名

参加お申し込み



左のQRコードからお申し込みください。 <https://forms.office.com/r/6v83gpYiaB>
先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

締切: 2026年1月16日(金)17:00

お問い合わせ先

農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域
E-mail: ichigoyushutsusympo@ml.affrc.go.jp TEL: 029-838-8681

主催: 農研機構 野菜花き研究部門